

# インターンシップ募集要項



認定NPO法人  
サロベツ・エコ・ネットワーク

## 1. NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク

サロベツ地域の豊かで美しい自然環境を次世代に引き継ぐことを目的に、地域住民有志によって平成16年に設立されました。現在は全国200名以上の会員に支えられ、環境保全・環境教育・地域づくりを活動の柱に据え、地域に密着した活動を続けています。また自然再生事業の担い手としても期待されており、平成23年4月より、サロベツ湿原センターの管理運営を行っております。職員数は6名です。

## 2. サロベツ原野

サロベツ原野は北海道北部に位置し、稚内市、豊富町、幌延町にまたがる広大な原野の総称で、その中では、低地における日本最大規模の極めて発達した高層湿原を見ることができます。湿原やその周辺部は優れた自然景観や貴重な動植物の宝庫であり、利尻礼文サロベツ国立公園に指定されています。また渡り鳥の中継地として国際的に重要な湿地であることから、ラムサール条約に登録されています。サロベツ湿原は、かつて14,600haの大湿原でしたが、戦後の農地開発により著しく減少し、現在の湿原面積は、釧路湿原・別寒辺牛湿原に次いで日本国内で3番目の6,700haです。

近年も依然として農地開発の影響を受けており、湿原の乾燥化が大きな問題となっています。このため、国の自然再生推進法に基づき、北海道内では2カ所目（釧路湿原とサロベツ湿原）となる自然再生協議会が発足し、現在は自然環境の保全と人間活動の共存（湿原の自然再生、酪農の振興、地域づくり）に向けた各種事業が行われています。

地域の主産業は酪農であり、豊富町には人口（4,200人）の約4倍の数の乳牛が飼育されているほどの酪農地帯です。なお、生産された牛乳は北海道内最大手コンビニエンスストアを通じて、全道に出荷されているほか、本州向けにも出荷されています。また日本海に面しているため漁業も盛んで、タコやヒラメ、サケ、ホッキ貝など新鮮な魚介類が獲れるほか、豊富な森林資源を生かして木材生産も行われている地域です。

## 3. 当法人のインターンシップについて

人と自然の関わりが深い「サロベツ原野」において、過去を学び、現在を知り、未来に目を向けて考え、そして人々にサロベツの自然が見せる様々な姿（私たちとの関わり、課題も含め）を伝えていくことで、物事を多面的に捉え、消化吸收し、他者に発信する能力を総合的に養うことが、このインターンシップのテーマです。

具体的には、サロベツ湿原センターを各種活動の拠点に、幅広い業務を行っていただきます。サロベツを訪れる方への自然情報提供や展示物作成の他、調査活動、国立公園内巡視などを行います。また、保全・再生活動などを通じて、地域におけるNPOの役割や、行政機関や地域住民との協働の方法についても学べます。将来的に自然関係の仕事に就きたい方、学芸員を目指している方には貴重な経験を得られる実践の場となることでしょう。ぜひ実りある実習となりますよう、よろしくお願い致します。

<主な業務内容>

- 【湿原センター】来館者対応（周辺案内・展示解説・自然情報収集・木道ガイド等）・物販・イベント補助・展示物作成・館内および館外清掃
  - 【保全活動】特定外来生物（オオハンゴンソウ・セイヨウオオマルハナバチ）など、外来生物のパトロール・除去作業・木道維持管理・野生動植物調査補助
  - 【環境教育】自然観察会および講演会補助・イベントチラシ、ポスター作成・子ども活動補助・フットパスルート整備
  - 【地域活動】ミズナラ苗畑管理（国立公園特別保護地区内の森林再生のため）・サロベツ川および湖沼のカヌー清掃・海岸清掃・原野清掃
  - 【その他】豊富温泉活性化・地域ブランド開発補助
- ※時期により、業務内容が変わります。上記以外にも、幅広く様々な業務を経験していただくことになりますことを予めご了承下さい。

<活動期間>

- ・毎年度4月1日～3月31日の中の任意の14日間  
（学校側で指定の日数がある場合は、そちらに合わせられますのでご相談下さい）

<対象・募集人数>

- ・高校生以上、若干名

<応募方法>

- ・以下の応募書類を期日までに当法人宛に郵送して下さい。
  - ①履歴書（写真添付）
  - ②自己PRと志望動機を400～800字程度でまとめたもの。
- ※応募書類の返却は致しませんのでご了承下さい。

<必要な知識・経験>

- ・基本的なパソコン操作（ワード・エクセル・パワーポイント）
- ・自然体験活動のスタッフ経験（あれば）
- ・野生動植物調査経験（あれば）

<必要な資格>

- ・運転免許（あれば）

<求める人材のイメージ>

- ・明るく前向きで、自然と関わること、子どもやお年寄りと関わるのが好きな人

- ・業務が多岐に渡るため、何にでも興味を持ち、積極的に取り組むことができる人
- ・周囲と協調・協力しながら、責任を持って最後までやり遂げられる人。

<締め切り>

- ・インターンシップ開始希望日の一ヶ月前必着
- ※2週間以内に採否についてご連絡いたしますので、採用が決まった方は直接受入に向けたやり取りをさせていただきます。

#### 4. 交通案内

- ・稚内空港より空港連絡バスと宗谷本線を乗り継ぎ、約1時間（JR豊富駅下車）
- ・札幌駅から特急で約4時間20分（JR豊富駅下車）
- ・旭川駅より特急で約3時間（JR豊富駅下車）

※現地までの交通費の支給はありません。恐縮ですが自費でお越し下さい。



#### 5. 宿泊案内

宿泊については、市街地中心部付近（豊富町役場の裏手）の当法人事務所（通称「サブレンの館」）を無料でご利用いただけます。この施設は夏季にサロベツ原野でガイド等の活動をするサブレンジャー（北海道大学等の学生）や、湿原を研究する学生・研究者が共同で寝泊まりをしている自炊施設（2DK）です。

<利用上の注意>

- ・基本的に男女別の相部屋で自炊生活となります。
- ・「サブレンの館」は共同の宿泊施設です。周りの人に配慮して、清潔に利用しましょう。

- ・退去時には各自で清掃していただきます。
- ・活動期間の前後に宿泊することも可能ですのでご相談下さい。
- ・当施設の宿泊に関しては、サブレンジャー、インターンシップ、調査研究等の目的以外のご利用はできませんのでご了承下さい。

<利用料金>無料（※ただし、年会費 1,000 円で当法人の会員になっていただきます）

<主な設備>共同台所・風呂・トイレ（汲み取り式）・全自動洗濯機・テレビ・冷蔵庫・炊飯器・電子レンジ・ガス台・調理器具・食器・調味料・和室2部屋（6畳）・居間兼食堂（8畳）

※食材や米、調味料は必要に応じて現地の商店で購入してご使用下さい。

<宿泊所からの所要時間>

- ・スーパーまで徒歩3分・コンビニまで徒歩7分・豊富町役場まで徒歩3分・豊富駅まで徒歩10分・銭湯まで徒歩5分・豊富温泉まで車で6分（6 km）・サロベツ湿原センターまで車で7分（7 km）

※宿泊施設からインターンシップを行う湿原センターまではスタッフが送迎いたします。施設には自転車もありますので、近距離の移動にご利用下さい。

<宿泊施設の所在地>



## 6. インターンシップ活動中の服装

### <屋内>

- ・襟付きのシャツ（長袖）
- ・長ズボン（短パン不可）
- ・上履き（クロックスのようなデザインであればサンダル可）
- ・フリースまたはセーター（サロベツは北緯45度より北に位置し、年平均気温は6℃程度です。8月でも天候によっては10℃以下になるため、大変寒いです）

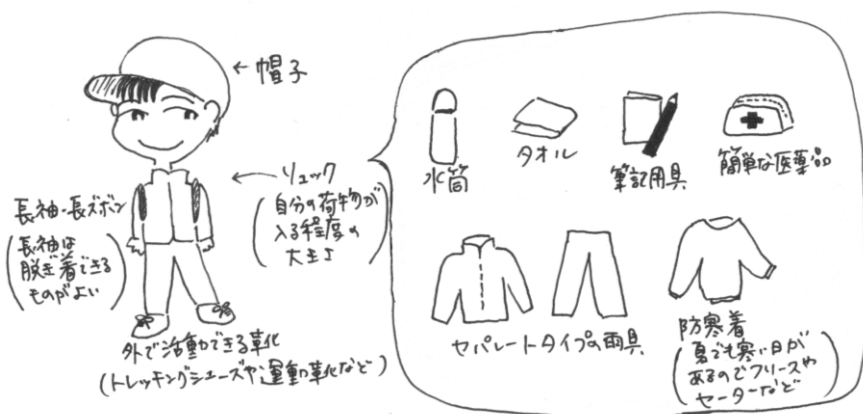
※センター業務では来館者対応をしていただきます。お客様に不快な気持ちを抱かれないよう、身だしなみには留意して下さい。

### <野外活動>

- ・雨具（上下セパレートタイプのもの・なるべく防風防水透湿性のあるものが良い）
- ・トレッキングシューズまたは運動靴
- ・水筒
- ・帽子
- ・タオル
- ・筆記用具
- ・リュック
- ・医薬品

### <あれば便利なもの>

- ・双眼鏡
- ・図鑑
- ・デジカメ



### <その他>

- ・洗面用具等、宿泊に必要なもの

## 7. お問い合わせ先

〒098-4100

北海道天塩郡豊富町上サロベツ 8662 番地

サロベツ湿原センター

Tel: 0162-82-3232 Fax: 0162-82-1009 Mail: info@sarobetsu.or.jp

担当 嶋崎・吉原